

NEWS LETTER

INFINITY JAPAN

欧州で培った技術とノウハウを
日本で融合、進化させます



2024
Spring

ニュースレター送付のご案内

インフィニティグループは、1996年に英国・ロンドンにて、ITサポート会社として創業し、現在6ヶ国・14社でソフトウェア開発、IT導入・サポートサービス、IT技術者派遣などの事業を展開しています。2021年に初の日本法人インフィニティ・ジャパン株式会社を設立し、日本でのIT事業を加速させるために、グループとして一緒に歩んで頂ける企業を探しています。

2024年4月より新たに、名古屋でソフトウェア開発や請負の業務を行っているコンピューターマネジメント株式会社（以下、CMC）がグループの一員となりました。

今号は、譲り渡し側である、CMCの吉田寛さん（80歳）に、事業の創業から引き継ぎまでのお話を伺いました。ご高覧頂けましたら幸いです。

インフィニティ・ジャパン株式会社
代表取締役 岩崎 博寿

後継者不在の問題を抱え、未来を模索

コンピューターマネジメント株式会社 前代表取締役社長 吉田寛

60年以上前の頃に遡りますが、学生時代からコンピューターに関心があり、学校では日本電気（NEC）が開発したNEAC2203のマシンを学びました。卒業後、大阪にあるコンピューターの開発会社に就職し、その後、名古屋にある大手企業へ出向して、主にNEAC2200のアセンブラでソフト開発に従事しました。大手企業の開発プロジェクトにいくつも関わり、自分自身の技術を磨いてきました。そして、1979年に独立を決心してソフト開発会社を創業し、すぐに2名、そして4名といったように仲間が増えました。

[次ページへ⇒](#)

今までのお客様とのつながりで仕事が徐々に増え、会社も大きくなりました。お客様に満足して貰えるよう従業員も技術を磨き、名古屋近隣の静岡や岐阜にもお客様が広がりました。若い世代も入社し、会社も安定してきており、自分自身の年齢も 60 代後半で、後継者に経営を譲ることができ、一安心しました。

しかしながら、後継者の新体制では攻めの経営を進め、大きなプロジェクトに挑戦した結果、ある開発プロジェクトで大きな損失を計上してしまいました。その結果、後継者は会社を去ることとなり、再び私が代表に戻り、会社の立て直しを図ることになりました。

大変な時期が続く中、何とか会社を続けられた理由

業界の価格競争が激しく、景気の影響も受ける中、苦労が続きました。それでも、幹部や従業員に助けられながら、会社を続けることができました。独立して技術者として活躍していた元従業員達も、CMC のコントラクターとして働いてくれました。そのような従業員達のためにも、給与や支払いの遅配をしないように必死でした。山あり谷ありの時代を何とか乗り越え、創業から 46 年という長い月日続けてこられたのは、まさに従業員達の支えがあったからだと思います。

従業員の雇用と大切なお客様との取引を守るために、CMC の引き継ぎを真剣に考えました。右腕となる信頼のおける幹部もいましたが、過去のプロジェクトの失敗で大きな損失を計上したままでは従業員に引き継ぐことは困難でした。外部へ引き継ぐしか方法は無いと考え、様々な可能性を模索し、M&A の仲介業者を通じて話をしましたが、なかなか良い引き継ぎ先を見つけることができませんでした。

きっかけは、郵便で受け取った「ニュースレター」

もうすぐ 80 歳になるという頃に、インフィニティから送られてきたニュースレターを受け取りました。欧州で成長してきた IT 企業が、日本での展開を強化するのに仲間になる企業を探していることを知り、話を聞いてみたいと思いました。新入社員も採用できなかった CMC を大きくするための可能性を感じたのです。

すぐに、インフィニティの代表 岩崎さんが名古屋に来てくれて、代表同士の場を持ちました。本当にこの会社を託せるのかを見極めるために、インフィニティのグループ会社である株式会社オーピーエヌの先代社長 新田さんにも会いたいと思い、2 日後には広島を訪問しました。

印象的だった握手

岩崎代表と会って印象的だったのは、最初に会った時に、しっかりと手を握って握手をしてきたことです。さすが、欧米式だと思いました。そして、ざっくばらんとした人物であることにも大変好感を持ちました。岩崎代表が「日本の東京プロマーケットへの上場を目指している」と話してくれたのですが、日本で会社を大きくしていくという彼の情熱に、非常に夢がある話だと共感しました。



右：Infinity Technology Holdings 代表取締役 岩崎博寿
左：コンピューターマネジメント株式会社 前代表取締役 吉田寛



その場ですぐにインフィニティの仲間に入ろうと決めたわけではありませんが、後継者不在の問題を抱えたまま顧客と社員に迷惑をかけてはいけなと思い、話を進めることを決断しました。その後は弁護士と相談して手続きを進め、岩崎代表と会って10ヶ月後には、事業を無事に引き渡すことができました。これから従業員の雇用とお客様の取引が守られることにホッとしました。

大きな期待を抱いて、これから

現在は、CMCの会長という肩書きです。インフィニティグループとしてCMCが更に成長していく可能性に、大きな期待を抱いていますし、すごく楽しみです。

これからですか？そうですね、売れるパッケージソフトを作りたいです。お客様に、CMCのパッケージソフトを提供して売上を増やしていきたいです。インフィニティは、自社開発したERPシステムがあり、そのシステムの商品化の成功事例が徐々に増えています。グループとして、お客様にとってより良いサービスと商品を提供しながら、従業員の一人一人が技術力を磨いて、会社がどんどん大きくなっていくことを楽しみにしています。

コンピューターマネジメント株式会社

代表取締役 岩崎 博寿

愛知県名古屋市東区葵三丁目18番17号

サンプレー名古屋ビル2F

TEL：052-935-2911 <https://cmcn.go.co.jp>

CMC Confidence
Moreover
Challenge